

| | | | |
|---------|----------|---|---------|
| 施 工 月 日 | 令和 年 月 日 | 令 和 7 年 度 | |
| 工 事 番 号 | 第 号 | 県費事業 漁場基盤改良事業（漁場環境緊急修復事業） 藻場礁（タコ産卵・施肥付）沈設工事 | |
| 施 工 方 法 | | | |
| 工 事 期 間 | 157日間 | 三原市須波町地先～須波一丁目地先 | |
| | | 工 事 概 要 | 施 工 理 由 |
| 部 長 | | 藻場礁 N=38基 | |
| 課 長 | | | |
| 課長補佐 | | | |
| 係 長 | | | |
| 検 算 者 | | | |
| 設 計 者 | | | |

三原市役所

特記仕様書

I 総則

本仕様書は、藻場礁（タコ産卵・施肥付）沈設工事の施工に関する事項を示すもので、この仕様書に記載されていない一般事項は「三原市請負工事請負契約約款」、「広島県土木工事共通仕様書」、「漁港漁場関係工事共通仕様書」及び設計図書内に記載されている事項によるものとする。

II 特記仕様事項

1 工事の目的

本工事は、水生生物の隠れ家や産卵場となり、餌料培養効果及び藻場増殖効果を有する藻場礁を設置することで藻場を人工的に造成し、漁船漁業におけるマダコ及び魚類の資源増大を図るものである。

本工事に使用する構造物は、別添「標準図」と同等の機能を有する藻場礁とする。

2 施工場所

三原市須波町地先～須波一丁目地先（別添「位置図」、「申請範囲図」のとおり。）

3 構造物の積込等ヤード

(1) ヤードは、三原市幸崎能地四丁目 4148-11 の能地漁港内を見込んでいる。（別添「運搬距離図」のとおり。）

(2) ヤード使用後は整地をして使用前の状態に戻すこと。

4 浮標等の設置

(1) 浮標等の設置にあたっては、監督員・漁協組合員の立会いのもとで基点を設置した後に沈設範囲を測量し、浮標等を設置すること。なお、工事完了後は速やかに浮標等を撤収すること。

(2) 浮標等は、海上において視認しやすく、かつ工期中波浪及び潮流に十分耐えうるものを設置すること。

5 藻場礁の沈設方法

藻場礁は、潜水士の作業により海底に確実に着底させること。沈設にあたっては、海藻の種子を藻場礁に設置後、最低水面から水深 3～6 m 程度の範囲で、底質が砂礫・砂・礫底等しっかりした場所に、重ならないように沈設するものとする。

6 業務内容

(1) 実施する時期及び期間は、発注者と協議の上、決定すること。

(2) 本工事の施工上、仮設物を設置する場合の直接要する費用は受注者の負担とする。

7 施工の仕様

(1) 資材の設置にあたっては、発注者の指示により施工するものとする。

(2) 使用する機械・機具については、可能な限り、環境に配慮したものを、受注者の負担において選定し、使用すること。

- (3) 施工に伴い排水及び騒音・振動、悪臭、粉塵等が発生する場合には、受注者の負担において、環境に配慮した対策を実施すること。

8 安全対策

本工事施工にあたっては、地元関係者・漁業組合等とも連絡を計るとともに、水陸交通等公衆に迷惑を及ぼさないよう気象・海象・交通・航行の状況をあらかじめ調査し、標識・防護柵等の設置など安全対策を行うこと。また、本工事施工にあたっての警戒船の配備については、「警戒船配備に関する特記仕様書」のとおりとする。

9 沈設出来形管理

藻場礁の沈設完了後に、潜水土による沈設状況確認をするとともに、沈設位置から陸地までの距離、最低水面からの水深、緯度経度の計測及び沈設状況の写真撮影をし、報告書を提出すること。

10 その他

- (1) 本工事の施工にあたり関係官庁等に対する手続き及び提出書類等の処理は、受注者の責任と負担において行うこと。
- (2) 本仕様書及び共通仕様書に示されていない事項で疑義が生じた場合は、監督員と協議し決定する。
- (3) 本工事は、週休2日適用工事等対象外工事とする。

以上

警戒船配備に関する特記仕様書

1 目的

本特記仕様書は、藻場礁（タコ産卵・施肥付）沈設工事に伴う警戒船の配備について必要な事項を定めることにより、適正な警戒業務の実施に資するとともに、関係船舶及び実施海域付近を運航する船舶の安全を図ることを目的とする。

2 場所等

(1) 場所

三原市須波町地先～須波一丁目地先の海域（別添「警戒船配置図」のとおり。）

(2) 警戒船数

- ① 事前調査及び出来形調査：警戒船 1 隻
- ② 沈設作業：警戒船 2 隻

3 警戒船の業務

警戒船の業務は、工事の実施海域付近において、主として次の業務を行うものとする。

- (1) 工事及び航行制限の内容に関する情報を航行船舶等へ提供すること。
- (2) 工事の関係船舶の交通を整理すること。
- (3) 工事の実施海域に異常接近する船舶に対し注意を喚起すること。
- (4) 工事の実施海域内の関連施設及び工事作業等の関係船舶に異常接近する船舶の監視を行うこと。
- (5) 工事の実施海域を示す標識その他の関連施設の異常の有無の監視を行うこと。
- (6) 工事の実施に伴い発生した事故により船舶交通に危険が生じ、又は生ずる恐れがあるときは、人命の安全確保及び船舶交通の危険を防止するため必要な応急措置を行うこと。
- (7) 工事の実施海域を示す標識その他の関連施設の異常を発見した場合又は工事の実施海域及び警戒を行う区域内で事故が発生した場合は、実施海域内の関係者にその状況を通報するとともに、発注者及び発注者が指定した者へ報告すること。

4 警戒船の設備等

警戒船に必要な設備は次のとおりとする。

- (1) 連絡設備：他の警戒船、工事の現場、関係海上保安官署と連絡が可能な無線設備又は携帯電話
- (2) 監視機材：双眼鏡
- (3) 注意喚起器材：拡声器又は手旗又は赤旗又は信号灯又は探照灯又はサイレン
- (4) 表示器材：警戒船であることが容易に識別可能な横断幕又は表示板及び特別灯火（青色閃光灯又は青と白の閃互光灯）
- (5) その他、発注者が求める設備等

5 警戒船の乗組員等

警戒船の乗組員等は次のとおりとする。

- (1) 警戒船を運航する乗組員のほか、1名の警戒業務に専従する者を配置すること。
- (2) 警戒業務に専従する者は、管区海上保安本部、海上保安監部、海上保安部、海上保

安航空基地及び海上保安署が実施する専従警戒要員等を対象とした警戒業務に関する講習のうち業務講習（以下「警戒業務講習」という。）を受講し、警戒業務に必要な関係法令、警戒船の任務、警戒業務実施方法、緊急時の措置その他業務実施海域の気象・海象の状況、船舶交通の状況等に関する知識、技能を習得していること。

6 注意事項

- (1) 警戒船の立場は、工事の情報を伝達する等他の船舶の安全航行について協力するものであって、他の船舶に対する指示権や航法上の優先権を有するものではないことに留意すること。
- (2) 警戒船の船長は、海上衝突予防法、海上交通安全法及び港則法等関係法令を順守し、航行の安全を確保すること。
- (3) 警戒船及び乗組員は、特別な指示による場合及び緊急の場合のほか、警戒を行う区域を離れないこと。
- (4) 警戒船及び乗組員は、巡視船艇から海難救助等の緊急措置について協力要請があった場合には、その旨を現場責任者等に報告し、指示を受けこれに協力すること。

7 提出書類

発注者が定める日までに次のとおり提出しなければならない。また、提出した書類に変更が生じた場合には、直ちに発注者へ報告をし、承諾を得なければならない。

- (1) 着手時：契約締結日から 10 日以内
 - ① 警戒船の船名（1 部）
 - ② 乗組員の名前（1 部）
 - ③ 小型船舶操縦免許証の写し（1 部）
 - ④ 警戒業務講習受講を証明する書類の写し（1 部）
 - ⑤ 緊急時連絡体制表（1 部）
- (2) その他、発注者が求める書類：発注者が指定する日まで（1 部）

以上

工事数量総括表

| 費目・工種明細など | 規格1・規格2 | 単位 | 数量 | 備考 |
|------------|---------|----|----|------|
| 本工事費 | | | | |
| 漁礁設置 | | 式 | 1 | レベル1 |
| 漁礁設置 | | 式 | 1 | レベル2 |
| 漁礁設置 | | 式 | 1 | レベル3 |
| 部材 | | 基 | 38 | レベル4 |
| 部材運搬 | | 式 | 1 | レベル4 |
| 部材荷卸し | | 式 | 1 | レベル4 |
| 部材沈設 | | 式 | 1 | レベル4 |
| **直接工事費** | | | | |
| 共通仮設費率分 | | | | |
| **共通仮設費計** | | | | |
| **純工事費** | | | | |
| 現場管理費 | | | | |
| **工事原価** | | | | |
| 一般管理費率分 | | | | |
| 一般管理費計 | | | | |
| **工事価格** | | | | |
| **消費税相当額** | | | | |

藻場礁（タコ産卵・施肥付）沈設工事

参考資料

総括情報表

| | | |
|---|--|--|
| 変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系 | 0 59 三原市 00-07.07.01(0) M 公共(港湾) | 凡例 Co ……コンクリート As ……アスファルト DT ……ダンプトラック BH ……バックホウ CC ……クローラクレーン TC ……トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン |
| | 当世代 19 港湾構造物工事 ICT補正区分 00 補正なし 施工地域・工事場所区分 00 補正なし 港湾輸送補正区分 00 海上輸送補正なし 復興係数区分 00 補正なし 週休補正区分 00 補正なし 冬期補正係数 00 補正なし 緊急工事区分 00 通常工事 0% 前払金支出割合区分 00 補正無し 契約保証区分 03 補正しない | 前世代 |
| 建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。 | | |

本工事費 内訳表

| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|----------------|----|----|----|----|------------------|
| 本工事費 | | | | | X1000 |
| 漁礁設置 | | | | | Y1M01 レベル1 |
| | 1 | 式 | | | |
| 漁礁設置 | | | | | Y1M0101 レベル2 |
| | 1 | 式 | | | |
| 漁礁設置 | | | | | Y1M010101 レベル3 |
| | 1 | 式 | | | |
| 部材 | | | | | Y1M01010101 レベル4 |
| | 38 | 基 | | | |
| 部材費 | | | | | V000000100 00 |
| | 38 | 基 | | | 単第0 -0001 表 |
| 部材運搬 | | | | | Y1M01010101 レベル4 |
| | 1 | 式 | | | |
| 部材運搬 10 t 車 | | | | | V000000200 00 |
| | 1 | 式 | | | 単第0 -0002 表 |
| 部材荷卸し | | | | | Y1M01010101 レベル4 |
| | 1 | 式 | | | |

本工事費 内訳表

| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|--|----|----|----|----|----------------------------------|
| 部材荷卸し 2 t 車_吊能力2.0 t | 1 | 回 | | | V000000300 00 単第0 -0003 表 |
| 部材沈設 | 1 | 式 | | | Y1M01010101レベル4 |
| 部材積込沈設 | 1 | 回 | | | V000000500 00 単第0 -0005 表 |
| ** 直接工事費 ** | | | | | |
| 共通仮設費率分 | | | | | Z0019 |
| 計算情報..... 対象額..... 率..... | | | | | |
| ** 共通仮設費計 ** | | | | | |
| ** 純工事費 ** | | | | | |
| 現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率..... | | | | | |

本工事費 内訳表

| 費目・工種・施工名称など | 数量 | 単位 | 単価 | 金額 | 備考 |
|---|----|----|----|----|----------|
| **工事原価** | | | | | |
| 一般管理费率分 計算情報..... 対象額..... 率..... | | | | | 前払補正率... |
| 一般管理費計 | | | | | |
| **工事価格** | | | | | |
| **消費税相当額** 計算情報..... 対象額..... 率..... | | | | | |
| **工事費計** | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

位置図

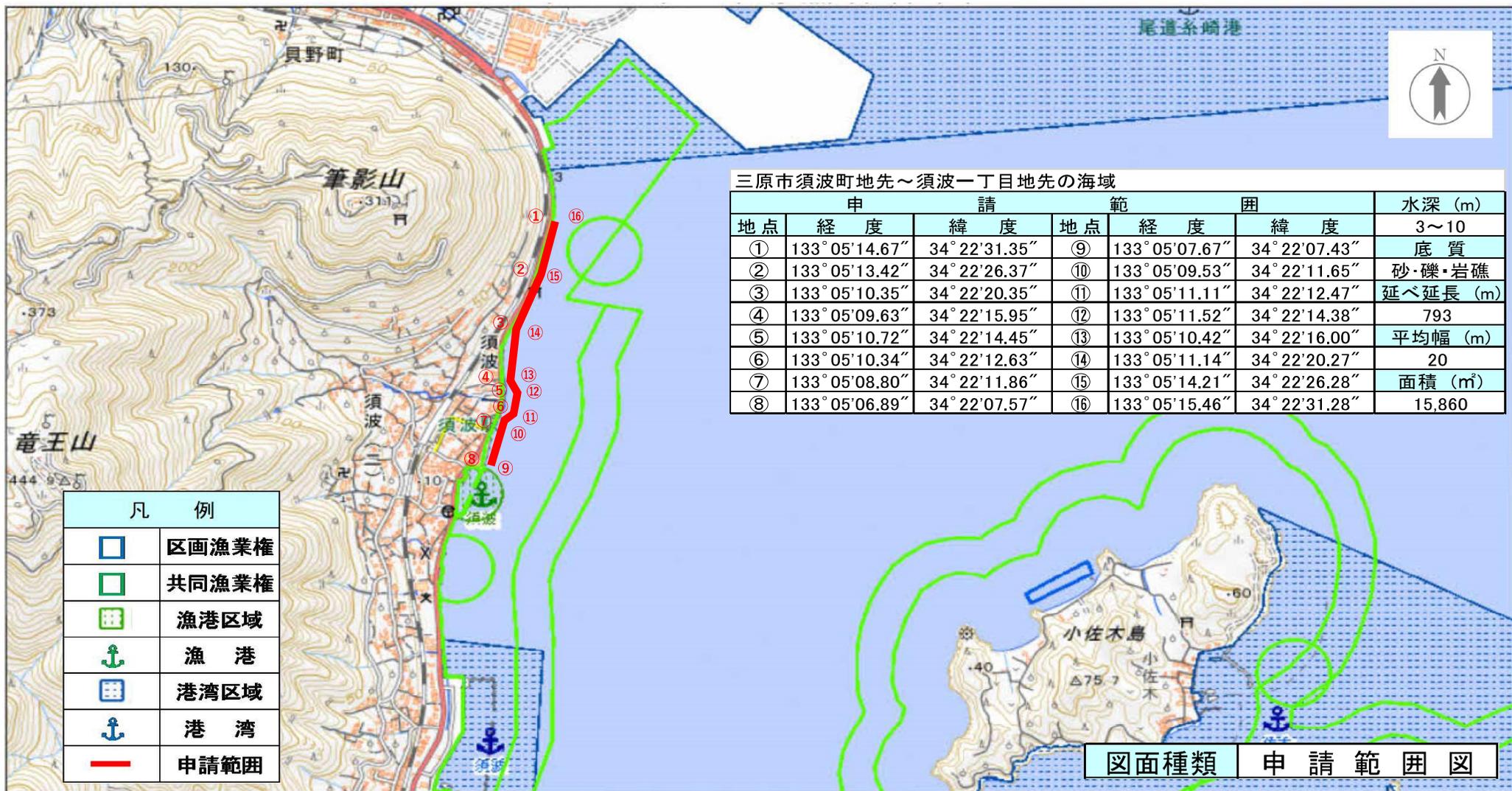


| | |
|-------|----------------------|
| 事業名 | 漁場基盤改良事業（漁場環境緊急修復事業） |
| 事業主体名 | 三原市 |



| | |
|------|-------|
| 図面種類 | 画像位置図 |
|------|-------|

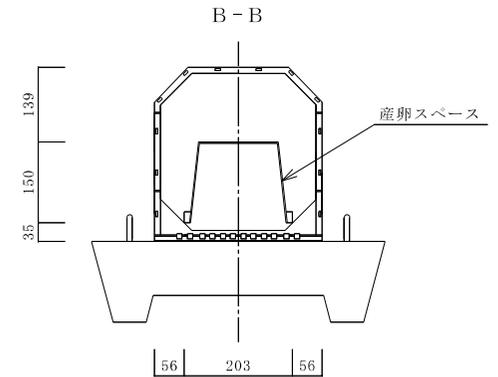
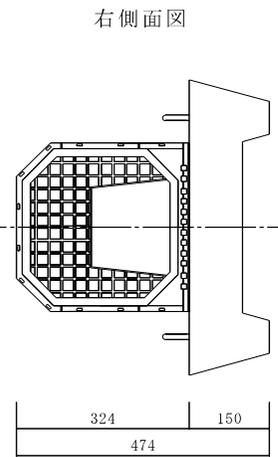
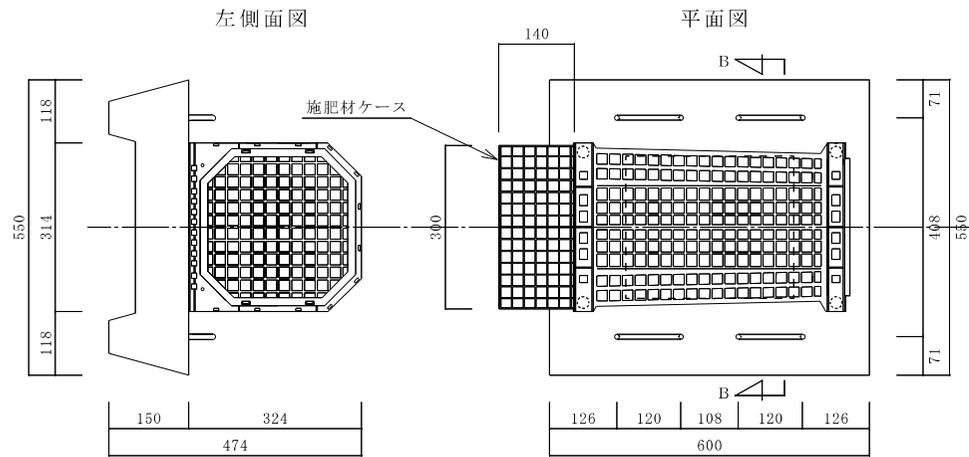
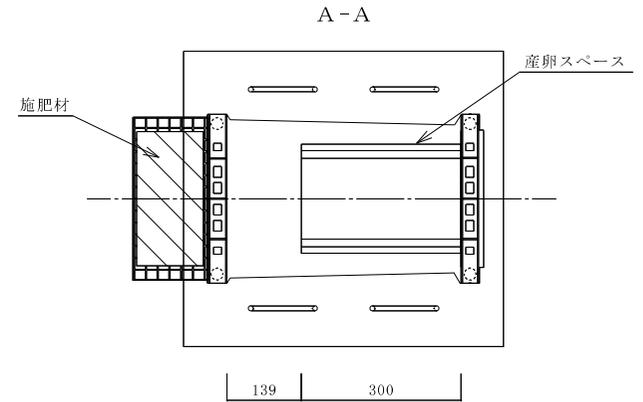
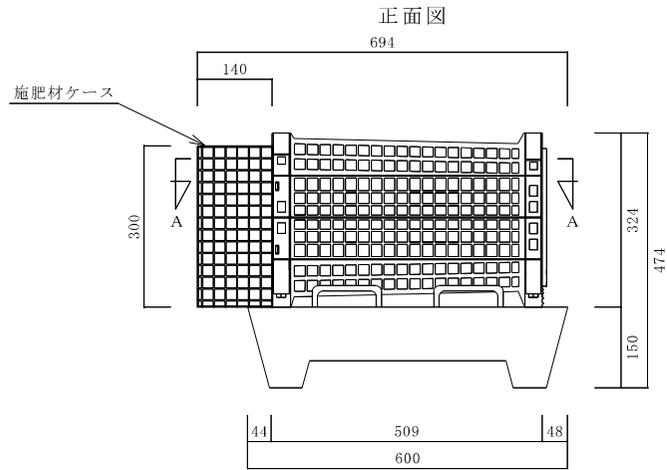
| | |
|-------|----------------------|
| 事業名 | 漁場基盤改良事業(漁場環境緊急修復事業) |
| 事業主体名 | 三原市 |



| 三原市須波町地先～須波一丁目地先の海域 | | | | | |
|---------------------|---------------|--------------|----|---------------|--------------|
| 申請 | | 範囲 | | 水深 (m) | |
| 地点 | 経度 | 緯度 | 地点 | 経度 | 緯度 |
| ① | 133°05'14.67" | 34°22'31.35" | ⑨ | 133°05'07.67" | 34°22'07.43" |
| ② | 133°05'13.42" | 34°22'26.37" | ⑩ | 133°05'09.53" | 34°22'11.65" |
| ③ | 133°05'10.35" | 34°22'20.35" | ⑪ | 133°05'11.11" | 34°22'12.47" |
| ④ | 133°05'09.63" | 34°22'15.95" | ⑫ | 133°05'11.52" | 34°22'14.38" |
| ⑤ | 133°05'10.72" | 34°22'14.45" | ⑬ | 133°05'10.42" | 34°22'16.00" |
| ⑥ | 133°05'10.34" | 34°22'12.63" | ⑭ | 133°05'11.14" | 34°22'20.27" |
| ⑦ | 133°05'08.80" | 34°22'11.86" | ⑮ | 133°05'14.21" | 34°22'26.28" |
| ⑧ | 133°05'06.89" | 34°22'07.57" | ⑯ | 133°05'15.46" | 34°22'31.28" |
| | | | | | 3～10 |
| | | | | | 底質 |
| | | | | | 砂・礫・岩礁 |
| | | | | | 延べ延長 (m) |
| | | | | | 793 |
| | | | | | 平均幅 (m) |
| | | | | | 20 |
| | | | | | 面積 (㎡) |
| | | | | | 15,860 |

| 凡 例 | |
|-----|-------|
| | 区画漁業権 |
| | 共同漁業権 |
| | 漁港区域 |
| | 漁 港 |
| | 港湾区域 |
| | 港 湾 |
| | 申請範囲 |

図面種類 申請範囲図



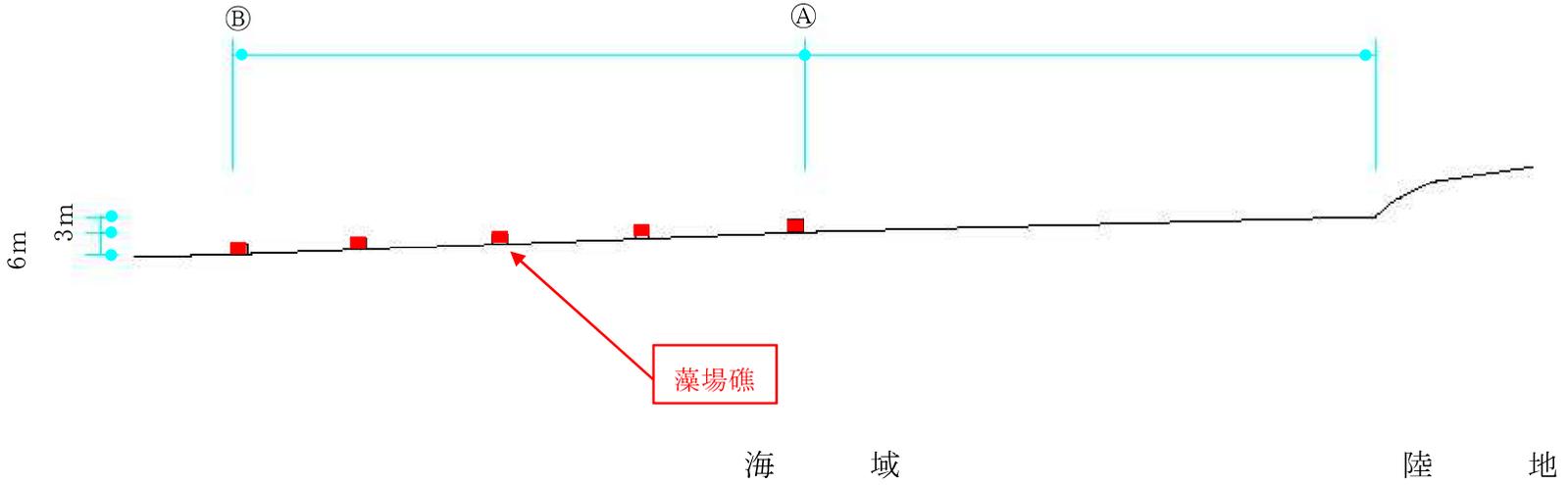
| 貝殻使用量 | 餌料培養量 | 海藻着生面積 |
|------------------------------|---------|---------------------|
| 0.023m ³ (23L) | 0.711kg | 0.541m ² |

材料数量表 (1基当たり)

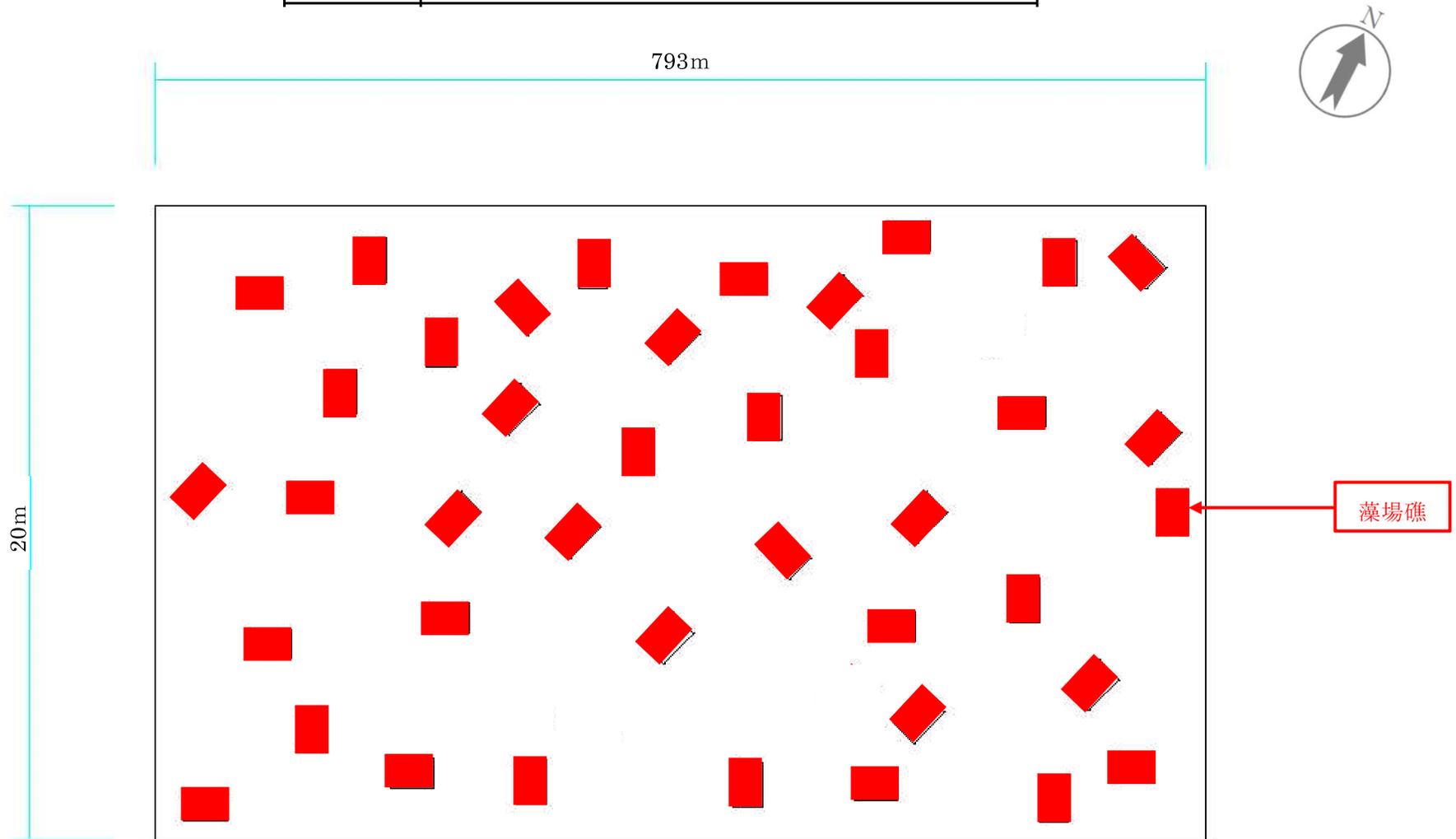
| No. | 品名(名称) | 規格 | 寸法 (m) | 数量 |
|-----|--------|----|--------|-------|
| | 本体 | | | 1 |
| | 施肥材ケース | | | 1 |
| | コンクリート | | | 1 |
| 重量 | | | | 63 kg |

| | | |
|-----------------------|---------|-------|
| 藻場礁 (タコ産卵・施肥付) 標準図 | 製図年月日 | 図番 |
| | R6.8.22 | 1/1 |
| 縮尺 1:10 | 型式 | K2217 |

| 陸地からの距離 | | |
|------------|---|------------|
| ①地点 | → | ②地点 |
| 申請範囲図①:22m | → | 申請範囲図⑬:48m |
| 申請範囲図②:28m | → | 申請範囲図⑭:48m |
| 申請範囲図③:34m | → | 申請範囲図⑮:54m |
| 申請範囲図④:28m | → | 申請範囲図⑯:48m |
| 申請範囲図⑤:52m | → | 申請範囲図⑰:72m |
| 申請範囲図⑥:51m | → | 申請範囲図⑱:71m |
| 申請範囲図⑦:21m | → | 申請範囲図⑲:41m |
| 申請範囲図⑧:16m | → | 申請範囲図⑳:36m |



| | |
|------|----------------------|
| 事業名 | 漁場基盤改良事業（漁場環境緊急修復事業） |
| 図面種類 | 配置計画図 |

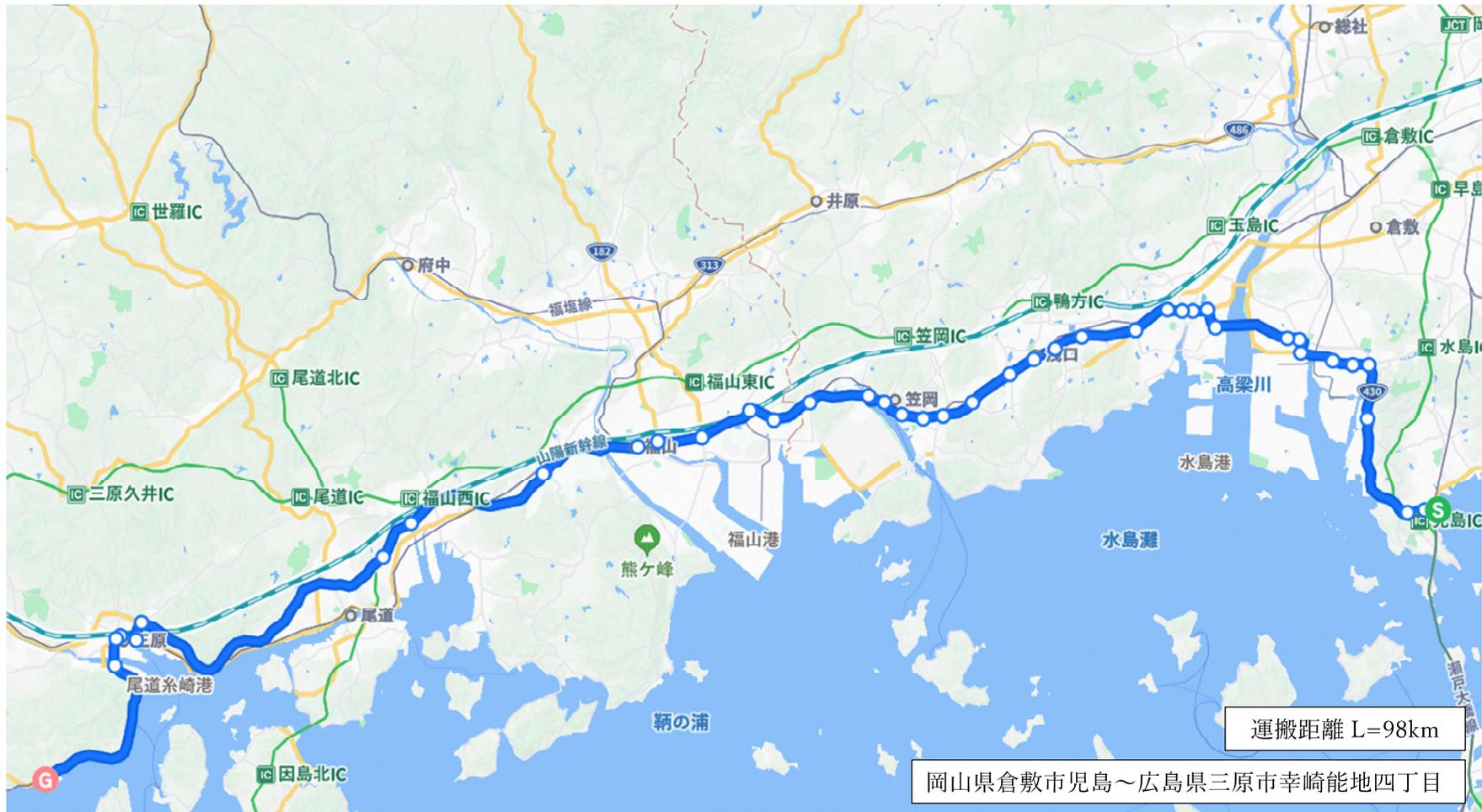


占用範囲（793m×20m）に藻場礁38基をランダムに設置する。

運搬距離図



| | |
|------|----------------------|
| 事業名 | 漁場基盤改良事業（漁場環境緊急修復事業） |
| 工事名 | 藻場礁沈設工事 |
| 事業主体 | 三原市 |



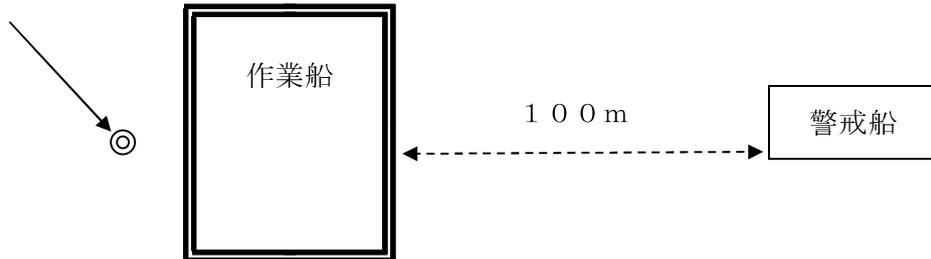
| | |
|------|----------------------|
| 事業名 | 漁場基盤改良事業（漁場環境緊急修復事業） |
| 工事名 | 藻場礁沈設工事 |
| 事業主体 | 三原市 |

部材運搬経路図

| | |
|-------|--------------------------|
| 事業名 | 漁場基盤改良事業 (漁場環境緊急修復事業) |
| 事業主体名 | 三原市 |
| 図面種類 | 警戒船配置図 |

(平面図)

灯浮標 5 A (発泡スチロール)
※作業後撤去



【作業船位置】

三原市須波町地先～須波一丁目地先の海域

| 地点 | 世界測地系 | |
|----|---------------|--------------|
| | 経度 | 緯度 |
| ① | 133度05分14.67秒 | 34度22分31.35秒 |
| ② | 133度05分13.42秒 | 34度22分26.37秒 |
| ③ | 133度05分10.35秒 | 34度22分20.35秒 |
| ④ | 133度05分09.63秒 | 34度22分15.95秒 |
| ⑤ | 133度05分10.72秒 | 34度22分14.45秒 |
| ⑥ | 133度05分10.34秒 | 34度22分12.63秒 |
| ⑦ | 133度05分08.80秒 | 34度22分11.86秒 |
| ⑧ | 133度05分06.89秒 | 34度22分07.57秒 |
| ⑨ | 133度05分07.67秒 | 34度22分07.43秒 |
| ⑩ | 133度05分09.53秒 | 34度22分11.65秒 |
| ⑪ | 133度05分11.11秒 | 34度22分12.47秒 |
| ⑫ | 133度05分11.52秒 | 34度22分14.38秒 |
| ⑬ | 133度05分10.42秒 | 34度22分16.00秒 |
| ⑭ | 133度05分11.14秒 | 34度22分20.27秒 |
| ⑮ | 133度05分14.21秒 | 34度22分26.28秒 |
| ⑯ | 133度05分15.46秒 | 34度22分31.28秒 |

上記地点で囲まれた範囲の付近

設置作業時は作業船を中心として半径100m付近に警戒船を1隻配備して付近航行船舶に対する警戒を実施。